

# 第28回

# うつのみやこども賞だより

## 平成23年度 第8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

### 《今月選ばれた本》

## 『モーグルビート！』

工藤純子／作 (ポプラ社)



### ～読んだ本の感想より～

- スピード一直線だった一子が美鈴と出会ってから少しずつ変わっていくところがよかったです。
- どんなに他の人から反対されても（それが家族であっても）絶対に心を動かさない一子の心に感動したし、私もそんなものに出会ってみたいと思いました。
- 山の中で勝負したとき一子と美鈴が仲がよくなっていくところが良かった。
- 一子は自分のやりたいことに真っ直ぐ進んで行くので、私もやりたいことをがんばろうと思う。
- 一子と美鈴の関係がとても面白かったです。モーグルはかっこいいと思いました。

### 『あの時間に、クスノキの下で』 中尾三十里／作 (文研出版)

- お父さんと仲直りできてよかったと思った。
- お父さんのことに気づきスーパーキッドになるのはおもしろかったです。
- 家族の大切さを教えてくれる一冊だと思います。あおいがこれまでの自分とは違う生き方を見つけれられてよかったと思います。人が助け合う大切さを改めて感じることができました。
- あおいが両親の離婚から少しずつ立ち直っていくところがすごいと思いました。
- あおいが周りの人と関わっていくうちに、どんどん大人になっていくところが感動しました。

### 『シーラカンスとぼくらの冒険』 歌代朔／作 (あかね書房)

- シーラカンスが宇宙に行けたのがすごく良かったです。
- アキラと師匠（シーラカンス）とマコトの絆に言葉では表せないくらい感動的でした。
- マコトとアキラがシーラカンスのことを大切にしてプラネタリウムや水族館につれていったのがよかった。最後にシーラカンスが「宇宙」に行ったのが感動的だった。
- 場面が頭に浮かんでくるのでおもしろい本だった。
- ぼくもシーラカンスを見てみたいなと思った。

### 『「リベンジする」とあいつは言った』 朝比奈蓉子／作 (ポプラ社)

- オロオロしているのが自分と反対でおもしろかった。
- いじめから友達になっていくストーリーが良かった。
- ぼくと江本の関係がおもしろかった。お母さんとはなれて暮らしている江本がかわいそうだった。
- 沢田達がやったいじめからおきた数々の出来事に立ち向かっていくストーリーがとてもよかったです。
- 主人公の「ぼく」と江本の関係が不思議だと思いました。江本がクラス全員に復讐するより友達になる方を選んでよかったです。

2012年1月14日